

2学期末に行われた「見附市共通アンケート」や「学校独自アンケート」の結果をもとに、1学期と比較し来年度へ向けた西中学校の教育課題についてお知らせします。

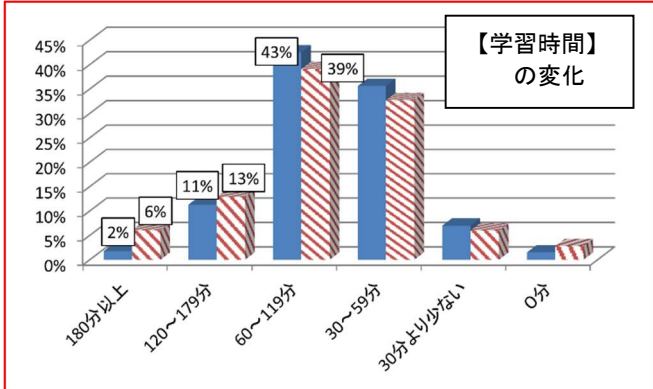
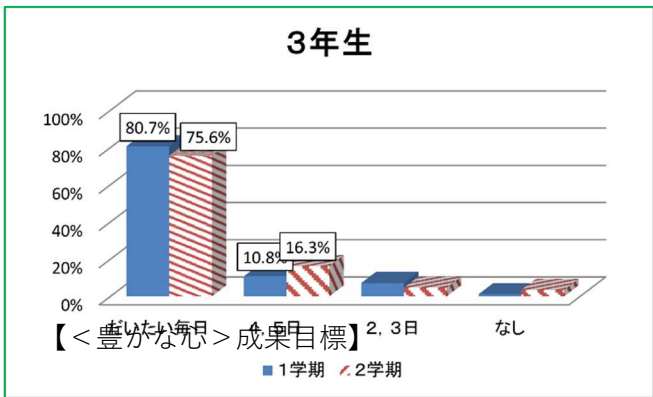
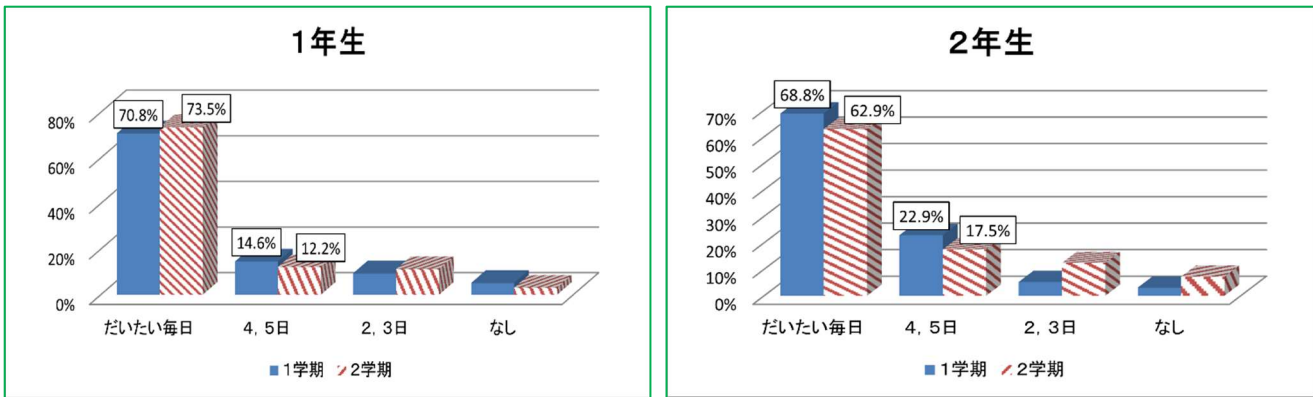
知 <確かな学力>『自ら学ぶ姿勢を育て、学力の向上を図る』



【<確かな学力>成果目標】

- 市共通生徒アンケートで「1週間に何日くらい家庭学習をしていますか」において、肯定的評価(4・5日以上)が90%以上となる。
- 独自生徒アンケートで『もっと学びたい』『もっとできるようになりたい』という意欲をもって授業に取り組むことができた」において、肯定的評価が85%以上となる。

(1)【家庭学習の日数】 一週間に何日くらい家庭学習をしていますか。(宿題、学習塾を含む)



(1) 評価：B

肯定的評価(4,5日以上)は1年生 85.4→85.7、2年生 91.7→85.4、3年生 91.5→91.9と1・3年生はほぼ横ばい、2年生は減少しています。見附市内の後期中学平均値 82%に対して、西中は 86%と良好です。また、学習時間も後期では、2時間以上の生徒が3年生で増加しています。その一方で、後期になって「2, 3日」や「なし」の生徒も増えてきました。

学習日数では、すべての学年で「だいたい毎日」が減少していることと、「なし」が増加してきたことが課題と考えています。「自分で計画を立てて勉強している」と答えた生徒が 69.3%でした。新潟県の平均より高い割合ですが、今後も自主学習課題や受検用補助教材への取組を奨励し、指導に努めます。

(2)「学校独自アンケート」での生徒から授業に対する下のようなアンケートを行っています。

「もっと学びたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって、集中して授業に取り組むことができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	96%	98%	96%	98%	97%	92%	94%	96%	99%	92%
2学期	95%	98%	94%	96%	95%	93%	94%	96%	96%	92%

授業の内容を理解したり、技能を身につけたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	93%	94%	91%	93%	92%	94%	98%	96%	98%	93%
2学期	93%	96%	90%	92%	95%	96%	97%	95%	96%	95%

ノートの取り方を工夫したり、話し合い活動に積極的に取り組んだりすることで、新しい気づきを得たり、より理解を深めたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	89%	94%	91%	92%	90%	94%	97%	98%	96%	95%
2学期	90%	97%	91%	93%	89%	93%	98%	96%	96%	95%

(2) 評価：A

今年度も『もっと学びたい』『もっとできるようになりたい』という意欲をもって授業に取り組むことができた」の肯定的評価が成果目標を大きく上回りました。また、自分なりに工夫したり、話し合いに積極的に参加したりと主体的に取り組む傾向が強く表れています。

今年度も学習意欲の向上を図るために、ファシリテーションスキルを取り入れることと ICT の活用を進め、指導の工夫と改善に努めてきました。全国学力・学習状況調査のアンケートでは、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」生徒が 71.6%、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んだ」生徒が 90.9%と、全国や新潟県の平均を大きく上回る結果となりました。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」と答えた生徒も 89.8%いて、昨年度からの主体性を伸ばす取組の成果が表れています。来年度は学びに向かう意欲を家庭学習につなげられるよう、指導方法の工夫に努めます。これからも家庭学習の定着にご協力ください。

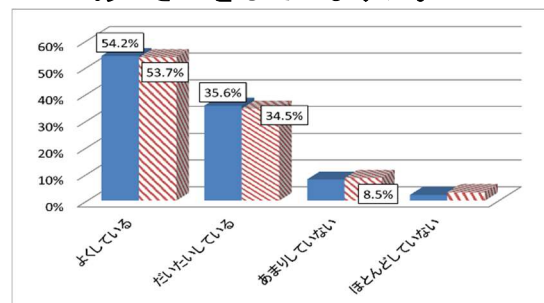
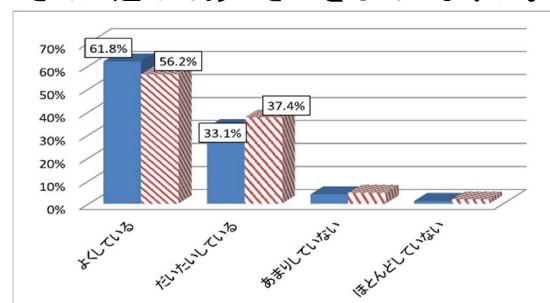


徳 <豊かな心>『自らを律し、思いやりの心の育成を図る』

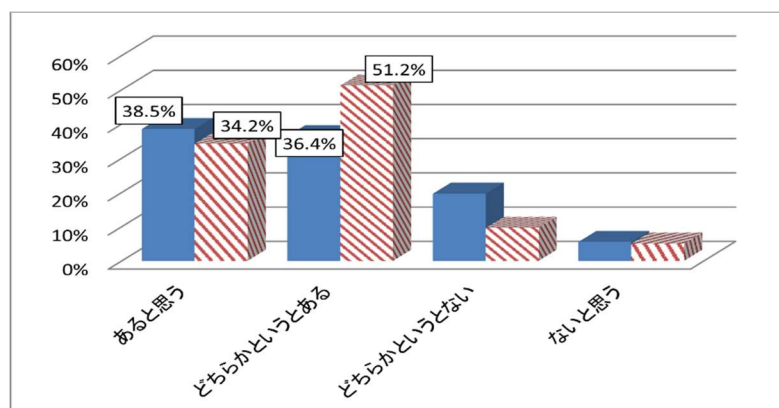
- 全国学力・学習状況調査で、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」において肯定的評価が95%以上となる。
- 市共通生徒アンケートで、「失敗を恐れなくて、挑戦していますか」において、肯定的評価が85%以上となる。
- 市共通生徒アンケートで「自分には良いところがあると思いますか」において、肯定的評価が80%以上となる。

いじめや偏見・差別を許さない心の育成に努めてきました。その結果「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」が、97.7%【評価A】でした。これからも 100%の回答を目標とします。来年度も「互いに認め合う」こと、「達成感をもち、自己肯定感を高める」活動を展開していきます。

- (1) 【学校でのあいさつ】学校で友達や先生、お客さんに進んであいさつをしていますか。
- (2) 【地域へあいさつ】地域の人に進んであいさつをしていますか。



- (3) 【自己の肯定感】自分には良いところがあると思いますか。



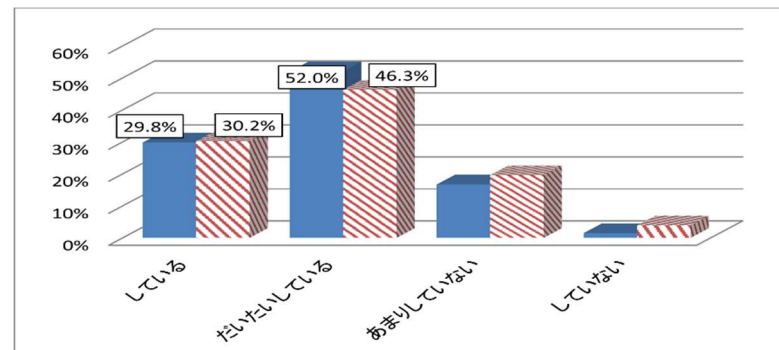
(1) 評価：A
肯定的評価が前期 94.9%→後期 93.6%と高い肯定率となりました。

(2) 評価：A
前期 89.6%→後期 88.2%と高い肯定率です。昨年度に引き続き、市内中学校の平均を上回りました。

(3) 評価：A
前期 74.9%→後期 85.4%と昨年度と同じく 80%を超えました。市内の中学校平均を 2 % 上回る結果になりました。

(4) 評価：B
前期 81.8%→後期 76.5%の肯定率でした。昨年度より肯定率が 4 % 低い結果となりました。

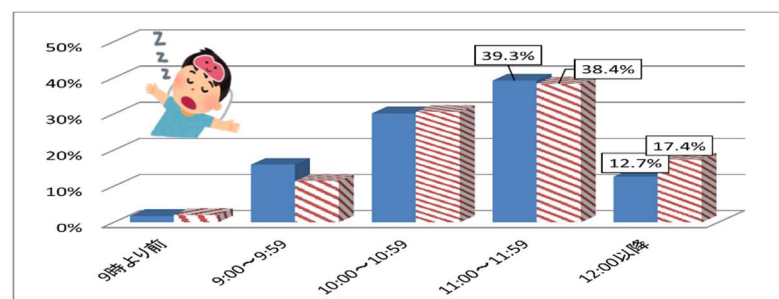
- (4) 【困難への克服】失敗を恐れずに挑戦していますか。



体 <健やかな身体>『健康・体力の向上を意識する態度の育成を図る』

○学校独自アンケートで「タイムマネジメントを意識して、生活するようになった」において肯定的評価が70%以上となる。

- (1) 【就寝時刻】(月曜～金曜日)、何時ごろ寝ますか。

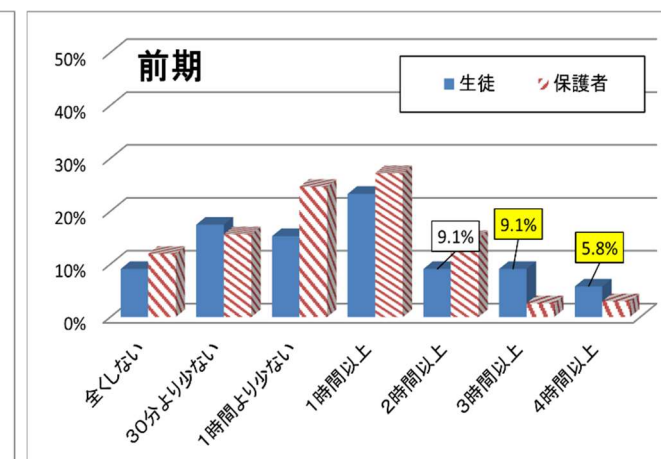
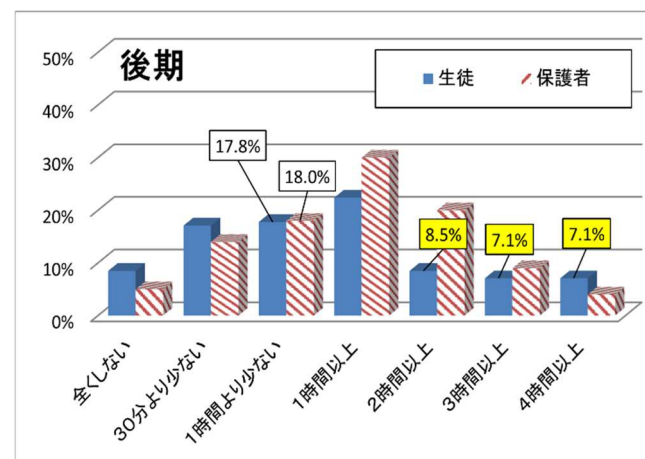


(1) 評価：C
11 時以前の就寝を肯定的評価とするならば肯定的評価が前期 48%→後期 44.2%で、就寝時間が遅くなっています。睡眠時間の減少の改善も見られませんでした。

- (2) 【通信機器の使用】ふだん(月曜～金曜)1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール(ラインなども含む)、インターネット(YouTubeなども含む)をしますか。



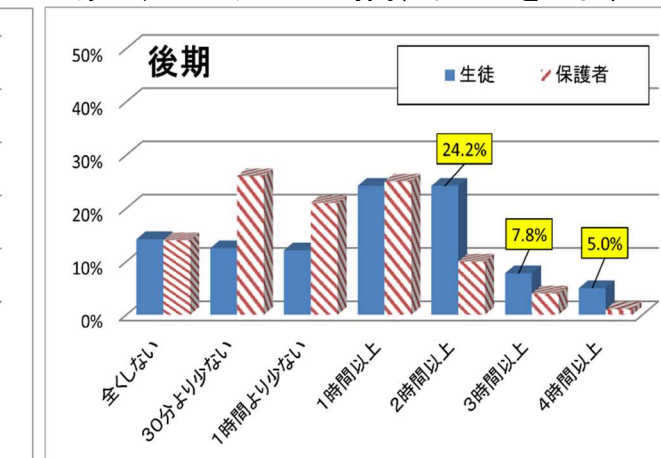
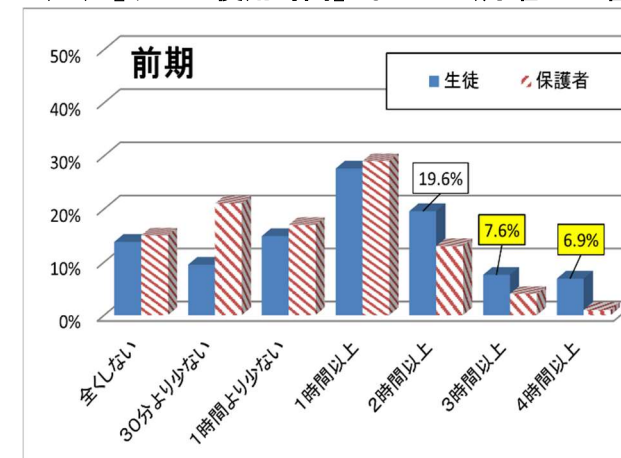
<生徒と保護者の意識の比較と前期・後期の変化について>



- (2) 評価：B

使用時間に関しては、2 時間以上の使用で生徒と保護者の意識に差が生じています。また、使用時間については、2 時間以内の使用が昨年度より 4 % 程度増加しました。年々使用時間が増えていましたが、今年度はやや減少しています。

- (3) 【ゲーム使用時間】ふだん(月曜～金曜)1日あたりどれくらいの時間、ゲームをしますか。



- (3) 評価：B

2 時間以上の使用では生徒と保護者の意識に差が生じています。また、2 時間以上の使用が前期 34%→後期 37%と微増しました。また、2 時間以上の使用者が昨年度より 7 % 増加しました。

ネットワークに接続可能なゲームや携帯電話等の使い方やルールを決めている家庭が小学校 82%、中学校 78%で年々微増しています。西中学校でも昨年度より 2 % 増加しました。しかし、保護者アンケートで「お子さんが約束したルールを守っている」と答えた方が、昨年度 75%→今年度 69%に減少しました。今年度もメディアの使用時間が多い生徒ほど、睡眠時間が少ないことが伺える結果が出ています。来年度も学級活動や生徒会活動において、生活習慣の改善・メディアコントロール等、時間の効果的な使い方(タイムマネジメント)について取り組んでいきます。